

「気候及び災害リスクに対する児童の強靱性向上計画」最終報告会の実施

5月17日、合田大使は、日本政府の拠出で実施された無償資金協力「気候及び災害リスクに対する児童の強靱性向上計画」の最終報告会に出席しました。同式典には、合田大使の他、アジケエフ非常事態大臣、ケンディルバエヴァ教育・科学大臣、ライムクロヴァ天然資源・エコロジー・技術監督省次官、サマン・タパUNICEF事務所長、UNICEFと赤十字のボランティア等が参加しました。

同プロジェクトにより、学校1996校で避難訓練が行われ、教師27,103人、児童及び生徒975,574人が災害時に身を守る方法について学びました。

また、学校600校に防災機材が供与されました。政府職員806人が学校を中心とした防災教育について学びました。このほか、大気汚染が子供の健康に与える影響について研究が進められました。

同プロジェクトで得た防災に関する知識や経験が今後もキルギスで受け継がれ、キルギスが災害に対して強い国になっていくことを期待しています。

